

2021 年 1 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日の間に 当院において腎臓の手術または生検が施行され、かつ術前に腎臓の MRI を施行された方及びご家族の方へ

「腎腫瘍性病変の偽被膜構造検出における 3D T2 強調 MR imaging の有用性に関する検討」へ のご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学放射線診断学	准教授	山本 亮
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	教授	玉田 勉
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	講師	神吉昭彦
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	講師	檜垣 篤
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	臨床助教	福永健志
研究分担者	川崎医科大学放射線診断学	大学院生	小野健太郎
研究分担者	川崎医科大学附属病院中央放射線部	主任	佐内弘恭
研究分担者	川崎医科大学附属病院中央放射線部	診療放射線技師	守屋和典

1. 研究の概要

腎腫瘍の評価は画像診断が大きな役割を担っていますが、一定の割合で良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別が困難な症例が存在し、良性病変に対して手術が施行されることがあります。悪性腫瘍は被膜を有することが多く、被膜の有無は病変の良悪を判断する重要な手がかりですが、画像で評価が難しいことが多いのが現状です。この研究では腎腫瘍の手術された方で、かつ術前に MRI 検査を施行された方を対象に 3D T2 強調画像という撮影において術前に被膜の有無を評価できるかどうかを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において腎臓の腫瘍で手術または生検が施行され、かつ手術前に腎臓の MRI が施行されている患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日

3) 研究方法

本研究では、診療録を利用し、腎腫瘍で手術または生検で診断された病変の病理結果と術前に施行された腎臓の MRI の 3D T2 強調画像といわれる方法で撮影された画像を評価して、手術前に病変が悪性かどうかの予測ができるかどうかを評価します。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、病理診断結果、画像検査（MRI）情報を検討いたします。

5) 外部への情報の提供

なし

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学放射線診断学実験室内のパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学放射線診断学 准教授

氏名：山本 亮

電話：086-462-1111

内線 44217（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：jiro@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、川崎医科大学の学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。